令和７年３月１８日
報　道　発　表　資　料
川崎市教育委員会事務局
川崎市（環境局）

「脱炭素チャレンジカップ2025　文部科学大臣賞」受賞報告会を開催しました

川崎市立下作延小学校（高津区下作延５－１９－１　校長　大泉（おおいずみ）　文人（ふみと））では、令和５年度に、当時の５年生児童（８１名）が「総合的な学習の時間」で富士通株式会社と連携した授業を実施しました。その取組が、今年度「脱炭素チャレンジカップ２０２５」において、環境教育に関する顕著な取組として認められ、川崎市立学校で初めて文部科学大臣表彰（社会活動分野）を受賞しました。

この度、校長や児童及び、授業で連携した富士通株式会社の皆さんが直接、市長へ報告する報告会を開催しましたのでお知らせいたします。

「脱炭素チャレンジカップ２０２５」について

CO_2排出量の実質ゼロを目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について、優れた取組を表彰している全国大会。１４年目の開催となる今年度は１１８件のエントリーがあり、顕著な取組に対しては環境大臣、文部科学大臣から表彰されている。　（「脱炭素チャレンジカップ」HP　https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/）

【受賞報告会】

１　会　場　　本庁舎７階　市長応接室

２　日　時　　令和７年３月１７日（月）１６時２０分～１６時３５分

３　出　席　　下作延小学校　　校長、教諭１名
　　小学６年生児童３名
　　富士通株式会社　社員３名

４　当日の流れ
- 校長から受賞の報告
- 児童から取組内容の報告
- 富士通株式会社からのお話
- 市長からの言葉
- 記念撮影
- 懇談

受賞報告会の様子

「ありたい未来」の実現に向け、自分ができることを考え発表する様子

受賞式当日の様子

下作延小学校と富士通株式会社の取組

「デザインとテクノロジーで脱炭素への行動変容を生み出す環境授業」

令和５年度に、当時の５年生（８１名）が「総合的な学習の時間」で、富士通株式会社と連携して授業を実施。脱炭素への行動変容を引き出し、子どもたちが変わることで大人や地域の環境アクションの機運を高めることを目指した取組。児童が環境問題を自分事として捉え「ありたい未来」を構想し、実現に向けた行動によるCO_2削減量を富士通の技術によってダッシュボードで可視化し、効果と意義を実感した。学習の成果は地域や保護者へ発信し、周りの大人の意識変容につなげた。

問合せ先　学校教育に関すること　　川崎市教育委員会事務局教育政策室　安斎　電話　０４４－２００－２８３８
　　環境教育の取組に関すること　川崎市環境局総務部企画課　　藤田　電話　０４４－２００－２３８５